



Cisco IP Phone のカスタマイズ

- 電話の情報とディスプレイの設定 (1 ページ)
- コール機能の設定 (9 ページ)
- ボイス メールの設定 (20 ページ)
- 内線への着信音の割り当て (22 ページ)
- 特殊着信音の追加 (22 ページ)
- 音声設定の構成 (23 ページ)
- ビデオ サービスの無効化 (25 ページ)
- ビデオ帯域幅の制御 (26 ページ)
- カメラ露出の調整 (26 ページ)
- 電話機 Web サーバ (27 ページ)
- XML サービス (30 ページ)

電話の情報とディスプレイの設定

電話機の Web ユーザインターフェイスを使って、電話機の名前、背景の画像、ロゴ、スクリーンセーバーなどの設定をカスタマイズできます。

電話機の名前の設定

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機の Web ページへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [全般 (General)] の下で、[ステーション表示名 (Station Display Name)] フィールドに電話機の名前を入力します。

この名前は、左上隅にある電話機の LCD に表示されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

テキストと画像を使用したスタートアップ画面のカスタマイズ

Cisco IP Phone がブートアップするときに表示されるテキストまたは画像ロゴ (サイズが 128 X 48 ピクセルで奥行きが 1 ビット) を作成できます。ロゴは、シスコのロゴが表示された後の短いブート シーケンス中に表示されます。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (advanced)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] をクリックします。

ステップ 2 [画面 (Screen)] セクションで、[ブート表示 (Boot Display)] フィールドからオプションを選択します。

- [デフォルト (Default)] : スタートアップ画面に空白の画面または既存の画面を表示します。
- [ダウンロード画像 (Download Picture)] : スタートアップ画面に画像を表示します。[画像ダウンロード URL (Picture Download URL)] フィールドにパスを入力します。

例 :

`http://10.64.84.147/pictures/image04_128x48.png`

新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。

サポートされている電話機の画像ファイルの属性は、ビットマップ形式、1 ビット/ピクセル カラー、サイズは 128 X 48 ピクセルです。TFTP サーバも使用できます。

- [ロゴ (Logo)] : スタートアップ画面にロゴを表示します。 [起動表示としてのロゴの追加 \(6 ページ\)](#) を参照してください。
- [テキスト (Text)] : スタートアップ画面にテキストを表示します。[テキスト表示 (Display)] フィールドにテキストを入力します。最大 2 行のテキストを入力します。各行は 32 文字未満にする必要があります。2 行の間に改行文字 (\n) とエスケープ コード (%0a) を挿入します。

たとえば、`Super\n%0aTelecom` と表示されます。

```
Super
Telecom
```

書式設定にスペースを追加するには、+ 文字を使用します。テキストの前後に複数の + 文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。

ステップ 3 テキストのロゴを表示するには、[テキストロゴ (TextLogo)] フィールドに、次の要件に従ってテキストを入力します。

- 最大 2 行のテキストを入力します。
- 各行は 32 文字未満にする必要があります。
- 2 行の間に改行文字 (\n) とエスケープコード (%0a) を挿入します。
たとえば、Super\n%0aTelecom と表示されます。

```
Super  
Telecom
```

- 書式設定にスペースを追加するには、+ 文字を使用します。テキストの前後に複数の + 文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。

ステップ 4 [画面 (Screen)] セクションの [テキストロゴ (Text Logo)] フィールドに、次の要件に従ってテキストを入力します。

- 最大 2 行のテキストを入力します。
- 各行は 32 文字未満にする必要があります。
- 2 行の間に改行文字 (\n) とエスケープコード (%0a) を挿入します。
たとえば、Super\n%0aTelecom と表示されます。

```
Super  
Telecom
```

- 書式設定にスペースを追加するには、+ 文字を使用します。テキストの前後に複数の + 文字を追加して、テキストを中央に配置することができます。

ステップ 5 画像ロゴを表示するには、次の手順に従います。

- [画像ダウンロードURL (Picture Download URL)] フィールドにパスを入力します。

例 :

```
http://10.64.84.147/pictures/image04_128x48.png
```

新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。

- サポートされている電話機の画像ファイルの属性は、ビットマップ形式、1 ビット/ピクセルカラー、サイズは 128 X 48 ピクセルです。TFTP サーバも使用できます。
- [ロゴタイプ (Logo Type)] を [ダウンロード画像 (Download Picture)] に変更します。

ステップ 6 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機が再起動すると、.png ファイルが取得され、次のブート時に画像が表示されます。

壁紙のダウンロード

電話スクリーンの背景をカスタマイズするための画像をダウンロードできます。

手順

- ステップ 1** [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ユーザは [ユーザ ログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択して壁紙をダウンロードできます。
- ステップ 2** [画面 (Screen)] セクションで、[電話機の背景 (Phone Background)] フィールドの [ダウンロード画像 (Download Picture)] を選択します。
- ステップ 3** カスタム壁紙を TFTP、HTTP、または HTTPS サーバにアップロードします。
- 画像は .jpg ファイルです。推奨サイズは 800 X 480 ピクセルです。画像が推奨サイズではない場合でもユーザはアップロードできますが、画面に合わせてサイズが変更されます。
- ステップ 4** [画像のダウンロード URL (Picture Download URL)] フィールドに、壁紙画像がアップロードされているパスを入力します。
- URL には、TFTP、HTTP、または HTTPS サーバ名 (または IP アドレス)、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。
- 例 :
- ```
http://10.64.84.147/pictures/image04_800x480x24.jpg
```
- 新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。
- ステップ 5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。
- バックグラウンド画像の URL を変更しても、電話機は再起動しません。

## 電話機の Web ページによるスクリーンセーバーの設定

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機の Web ページへのアクセス](#)を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択する。

ユーザは [ユーザ ログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択して電話機にスクリーンセーバーを追加できます。

**ステップ 2** [画面 (Screen)] セクションで、次の表の説明に従ってフィールドをセットアップします。

| パラメータ                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [スクリーンセーバーの有効化 (Screen Server Enable)] | 電話機でスクリーンセーバーを有効にするには、[はい (Yes)] を選択します。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。<br>デフォルト: [いいえ (No)]                                                                                                                                                                   |
| [スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type)]    | スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます: <ul style="list-style-type: none"> <li>• [クロック (Clock)]: 単色背景にデジタル時計を表示します。</li> <li>• [ダウンロード画像 (Download Picture)]: 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。</li> <li>• [ロゴ (Logo)]: 電話画面にロゴを表示します。[ロゴの URL (Logo URL)] フィールドでロゴ画像を追加します。</li> </ul> |
| [スクリーンセーバー待機 (Screen Saver Wait)]      | スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。<br>スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。<br>デフォルト: 300                                                                                                                                                                                      |

| パラメータ                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| [画像のダウンロードURL (Picture Download URL) ] | 電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。写真をスクリーンセーバータイプとして選択した場合、この画像が電話機の画面にスクリーンセーバーとして表示されます。<br><br>新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話は新しい壁紙にアップグレードすることができず、既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、グレーの画面が表示されます。 |
| [ロゴのURL (Logo URL) ]                   | ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。ロゴをスクリーンセーバータイプとして選択すると、この画像は電話画面にスクリーンセーバーとして表示されます。                                                                                                                                   |

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 起動表示としてのロゴの追加

電話機の再起動時にロゴのアイコンをユーザーに対して表示する場合は、電話機の web ページからこの機能を有効にします。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [ユーザ (User) ] を選択します。

**ステップ 2** [画面 (Screen) ] セクションで、[ブート表示 (Boot Display) ] フィールドから [ロゴ (Logo) ] を選択します。 [ロゴ URL (Logo URL) ] フィールドで、ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。

画像をダウンロードしてブート表示として追加することもできます。 [ブート表示 (Boot Display) ] フィールドから [ダウンロード画像 (Download Picture) ] を選択します。 [画像ダウンロード URL (Picture Download URL) ] フィールドに画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。

ロゴは、.jpg または .png ファイルである必要があります。電話機には固定表示領域があります。そのため、元のロゴサイズが表示領域に収まらない場合は、画面に合わせて縮小する必要があります。Cisco IP Phone 8800 シリーズでは、ロゴ表示領域は電話機の画面の中央です。Cisco IP Phone 8800 シリーズの表示領域のサイズは 128 X 128 です。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 電話機の Web ページによるバックライト タイマーの調整

各電話機で事前に設定した時間にバックライトをオフにすることで、節電できます。

### 手順

- ステップ 1** 電話機の Web ページで、[ユーザ ログイン (User Login) ] > [詳細 (Advanced) ] > [音声 (Voice) ] > [ユーザ (User) ] を選択します。
- ステップ 2** [画面 (Screen) ] の下で、[バックライト タイマー (Back Light Timer) ] パラメータの期間を選択します。
- ステップ 3** [ディスプレイの明るさ (Display Brightness) ] フィールドで、目的の明るさの数値を入力します。

## 回線ごとのコール アピアランス数の設定

回線で複数のコール アピアランスをサポートしている電話機は、回線に許可されるコール数を指定するように設定することができます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。
- ステップ 2** [各種回線キーの設定 (Miscellaneous Line Key Settings) ] セクションで、[回線あたりのコール アピアランス (Call Appearances Per Line) ] ドロップダウン リスト ボックスを使用して、回線ごとに許可されるコール数を指定します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な LDAP ディレクトリ設定または XML ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは1つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは2つ目のコールに一致する名前が検索されます。

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 電話連絡先
2. コール履歴
3. LDAP ディレクトリ
4. XML ディレクトリ



(注) 電話機は次の形式を使用して XML ディレクトリを検索します。  
`directory_url?n=incoming_call_number`

例：サードパーティ製サービスを使用するマルチプラットフォームフォンの場合、電話番号 (1234) の検索クエリの形式は次のとおりです。  
`http://your-service.com/dir.xml?n=1234`

## 名前の逆引きルックアップの有効化および無効化

### 始める前に

- 名前の逆引きルックアップを有効化または無効化するには、以下のいずれかのディレクトリを設定します。
  - LDAP 社内ディレクトリ
  - XML ディレクトリ
- 電話管理の Web ページにアクセスします。電話機の [Web ページへのアクセス](#) を参照してください。



## 手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ2 [補足サービス (Supplementary Services)] 領域で、[電話機の逆引きルックアップサービス (Reverse Phone Lookup Serv)] を次に設定します。

- [はい (Yes)] - 名前の逆引きルックアップ機能を有効にします。
- [いいえ (No)] - 名前の逆引きルックアップ機能を無効にします。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

ステップ4 代替方法は config.xml ファイルを使用して、名前の逆引きルックアップ機能をプロビジョニングすることです。

```
<Reverse_Phone_Lookup_Serv ua="na">Yes</Reverse_Phone_Lookup_Serv>
```

# コール機能の設定

## コール転送の有効化

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

ステップ1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ2 [補足サービス (Supplementary Services)] の下で、有効にする各転送サービスに対して [はい (Yes)] を選択します。

- **Attn Transfer Serv** : 在籍コール転送サービスです。ユーザは、コールに応答してから転送します。
- **Blind Transfer Serv** : ブラインド コール転送サービスです。ユーザは、発信者と会話せずにコールを転送します。

ステップ3 転送サービスを無効にするには、このフィールドを [いいえ (No)] に設定します

ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## コール転送

コール転送は、電話機の Web ページにある [音声 (Voice)] タブと [ユーザ (User)] タブで有効にすることができます。

### [音声 (Voice)] タブでのコール転送の有効化

ユーザに対してコール転送を有効にする場合は、このタスクを実行します。

#### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

#### 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

**ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services)] の下で、有効にする各コール転送サービスに対して [はい (Yes)] を選択します。

- [不在転送サービス (Cfwd All Serv)] : すべてのコールを転送します。
- [話中転送サービス (Cfwd Busy Serv)] : 回線が話中の場合にのみコールを転送します。
- [無応答時転送サービス (Cfwd No Ans Serv)] : 回線の応答がない場合にのみコールを転送します。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

---

#### 関連トピック

[DND とコール転送ステータスの同期](#)

[\[機能キーの同期 \(Feature Key Sync\)\] を有効にする](#)

[XSI サービスによる自動転送ステータス同期を有効にする](#)

### [ユーザ (User)] タブでのコール転送の有効化

[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページからコール転送設定を変更する機能をユーザに提供する場合は、次のタスクを実行します。

#### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

## 手順

- 
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
  - ステップ 2 [コール転送 (Call Forward)] の下で、[コール転送設定 (CFWD Setting)] の [はい (Yes)] を選択します。
  - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
- 

## 会議の有効化

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

## 手順

- 
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
  - ステップ 2 [補足サービス (Supplementary Services)] の [会議サービス (Conference Serv)] ドロップダウンリストボックスで [はい (Yes)] を選択します。
  - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
- 

## SIP REC を使用したリモート通話録音の有効化

ユーザがアクティブな通話を録音できるように、電話機の通話録音機能を有効にすることができます。サーバで設定された録音モードによって、各電話機での録音ソフトキーの表示を制御します。

表 1: 録音モードと録音ソフトキー

| サーバでの録音モード | 電話機で利用可能な録音ソフトキー                                                                 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 常に         | ソフトキーは使用できません。<br>ユーザは電話機から録音を制御できません。通話が接続されると自動的に録音を開始されます。                    |
| なし         | [録音一時停止 (PauseRec)]<br>[録音再開 (ResumeRec)]<br>通話が接続されると自動的に録音を開始され、ユーザは録音を制御できます。 |

| サーバでの録音モード        | 電話機で利用可能な録音ソフトキー                                                                                                                                  |
|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オンデマンド            | 録音<br>[録音一時停止 (PauseRec) ]<br>[録音再開 (ResumeRec) ]<br>通話が接続されると自動的に録音が始まりますが、ユーザが [録音 (Record) ] ソフトキーを押すまで録音は保存されません。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。 |
| オンデマンド (ユーザによる開始) | 録音<br>[録音一時停止 (PauseRec) ]<br>[録音停止 (StopRec) ]<br>[録音再開 (ResumeRec) ]<br>録音は [録音 (Record) ] ソフトキーを押した場合にのみ開始されます。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。    |

録音中は、録音状態に応じてさまざまなアイコンがユーザに表示されます。[コール (Calls) ] 画面、およびコールを録音している回線キーにもアイコンが表示されます。

表 2: 録音アイコン

| アイコン                                                                                | 意味             |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|  | 録音中            |
|  | 録音中 (8811)     |
|  | 記録一時停止         |
|  | 録音の一時停止 (8811) |

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機の Web ページへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。
- ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services) ] セクションの [通話録音サービス (Call Recording Serv) ] フィールドで、[はい (Yes) ] または [いいえ (No) ] をクリックして通話録音を有効または無効にします。

**ステップ 3** (任意) ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

**ステップ 4** 電話機 Web ページで、通話録音が必要な [内線 (n) (Ext(n))] タブをクリックします。

**ステップ 5** [SIP設定 (SIP Settings)] セクションの [通話録音プロトコル (Call Recording Protocol)] で、通話録音プロトコルとして [SIPREC] を選択します。

[SIP設定 (SIP Settings)] フィールドの詳細については、[SIP の設定 \(SIP Settings\)](#) を参照してください。

**ステップ 6** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## SIP INFO を使用したリモート通話録音の有効化

ユーザがアクティブな通話を録音できるように、電話機の通話録音機能を有効にすることができます。

録音中は、録音状態に応じてさまざまなアイコンがユーザに表示されます。[コール (Calls)] 画面、およびコールを録音している回線キーにもアイコンが表示されます。

ユーザは次のソフトキーを押して電話の録音を制御します。

- 録音
- [録音停止 (StopRec)]

録音は [録音 (Record)] ソフトキーを押した場合にのみ開始されます。録音状態が変化するとユーザにメッセージが表示され、録音アイコンが通話画面に表示されます。

電話の録音が始まると、[録音停止 (StopRec)] ソフトキーが機能できるようになります。ユーザが [録音停止 (StopRec)] ソフトキーを押すと録音が停止します。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。

表 3: 録音アイコン

| アイコン                                                                                | 意味         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------|
|  | 録音中        |
|  | 録音中 (8811) |

### 始める前に

- コール制御システムで通話録音を設定する必要があります。

- 電話管理の Web ページにアクセスします。電話機の Web ページへのアクセスを参照してください。

#### 手順

- 
- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services)] セクションの [通話録音サービス (Call Recording Serv)] フィールドで、[はい (Yes)] または [いいえ (No)] をクリックして通話録音を有効または無効にします。
- ステップ 3** (任意) ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。
- ```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```
- ステップ 4** 電話機 Web ページで、通話録音が必要な [内線 (n) (Ext(n))] タブをクリックします。
- ステップ 5** [SIP 設定 (SIP Settings)] セクションの [通話録音プロトコル (Call Recording Protocol)] で、通話録音プロトコルとして [SIPINFO] を選択します。
- [SIP 設定 (SIP Settings)] フィールドの詳細については、[SIP の設定 \(SIP Settings\)](#) を参照してください。
- ステップ 6** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

設定ユーティリティを使用した不在着信通知の設定

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。電話機の Web ページへのアクセスを参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- [ユーザログイン (User Login)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択できます。
- ステップ 2** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

応答不可を有効にする

ユーザが応答不可機能をオンまたはオフにできるようにします。発信者は、ユーザが応答不可であることを伝えるメッセージを受信します。ユーザは電話機で [無視 (Ignore)] ソフトキーを押すことで、着信コールを別の宛先に転送できます。

電話機でこの機能が有効になっている場合は、DND ソフトキーを使用してこの機能をオンまたはオフにできます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services)] 領域で、[DND設定 (DND Setting)] ドロップダウンリストから [はい (Yes)] を選択します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

回線 (マルチライン電話機) を選択すると、電話画面の上部に応答不可バナーが表示されます。

次のタスク

別の設定を変更して、マルチライン電話機で選択済みまたは未選択の各回線の応答不可 (現在、緑色の点灯) ステータスが適切に表示されることを確認します。 [DND とコール転送ステータスの同期](#) を参照してください。

DND にスター コードを設定した場合、ユーザは各電話機の DND 機能を有効または無効にすることができます。 [DND のスター コードの設定 \(16 ページ\)](#) を参照してください。

関連トピック

- [DND とコール転送ステータスの同期](#)
- [\[機能キーの同期 \(Feature Key Sync\) \] を有効にする](#)
- [XSI サービスを介して DND ステータス同期を有効にする](#)

電話機とサーバとの間の設定の同期を有効にする

電話機とサーバとの間の設定の同期を有効にします。

以下の機能とユーザのタイプについては、この設定を有効にする必要があります。



- 不在転送

- 着信拒否 (DND)
- エグゼクティブとアシスタント



(注) この設定は、以下の例に示すとおり、XML 設定ファイルで有効にできます。

```
<!-- Call Feature Settings -->
<Feature_Key_Sync_1_ ua="na">Yes</Feature_Key_Sync_1_>
```

回線キーに機能キー同期が設定されており、さらに DND またはコール転送機能も有効になっている場合、それぞれの DND  アイコンまたはコール転送  アイコンは回線キー ラベルの隣に表示されます。回線キーに不在着信、ボイス メッセージ、緊急ボイスメールアラートがあると、アラート通知とともに DND アイコンまたはコール転送アイコンも表示されます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [内線[n] (Ext [n])] を選択します。ここで、[n] は内線番号です。
- ステップ 2** [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] セクションで、[機能キー同期 (Feature Key Sync)] フィールドを [はい (Yes)] に設定します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

DND のスターコードの設定

ユーザがダイヤルするスターコードによって、電話機の応答不可 (DND) 機能をオンまたはオフにするように設定できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [地域 (Regional)] を選択します。
- ステップ 2** [特定業種向けサービスアクティベーションコード (Vertical Service Activation Codes)] 領域の [DND Actコード (DND Act Code)] フィールドに *78 と入力します。

ステップ 3 [特定業種向けサービスアクティベーションコード (Vertical Service Activation Codes)] 領域の [DND Deactコード (DND Deact Code)] フィールドに *79 と入力します。

ステップ 4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

コールセンター エージェントの電話機のセットアップ

電話機で自動着信呼分配 (ACD) 機能を有効にできます。この電話機は、コールセンター エージェントの電話機として機能し、顧客のコールをトレースする、緊急の場合に任意の顧客のコールをスーパーバイザにエスカレーションする、廃棄コードを使用して連絡先番号を分類する、顧客のコールの詳細を表示するなどのことができます。

始める前に

- BroadSoft サーバで、電話機をコールセンター電話機として設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。

ステップ 2 [ACD設定 (ACD Settings)] セクションで、 [ACD 設定](#) で説明するようフィールドを設定します。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

プレゼンス表示用電話機のセットアップ

始める前に

- XMPP 用の Broadsoft サーバを設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [Broadsoft XMPP (Broadsoft XMPP)] セクションで、 [Broadsoft XMPP](#) の説明にしたがってフィールドを設定します。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

Bluetooth ハンズフリー プロファイル音声ゲートウェイ

Cisco IP Phone 8851 および 8861 は、Bluetooth ヘッドセットを使用するハンズフリー音声ゲートウェイ モードをサポートします。

設定ユーティリティによる Bluetooth ハンズフリーの設定

手順

ステップ1 [設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] > [ハンズフリー (Handsfree)] をクリックします。

ステップ2 [ハンズフリー (Handsfree)] で [Bluetooth モード (Bluetooth Mode)] を選択します。

ステップ3 回線を選択します。

ハンズフリー用に 1 ~ 10 の回線を選択できます。回線がハンズフリー回線として設定されている場合は、携帯電話の番号が表示され、その回線は携帯電話用にしか使用できません。共有回線または短縮ダイヤルに使用することはできません。

ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

共有回線

共有回線は、1 台以上の電話機に表示される電話番号です。同じ電話番号を複数の異なる電話機に割り当てることにより、共有回線を作成することができます。

着信コールは回線を共有しているすべての電話機に表示され、誰でもそのコールに応答することができます。1 台の電話機では、一度に 1 つのコールのみをアクティブにすることができます。

回線を共有しているすべての電話機にコール情報が表示されます。誰かがプライバシー機能をオンにすると、その電話機からの発信コールは表示されません。ただし、共有回線への着信コールは表示されます。

共有回線にコールがかけられると、共有回線を持つすべての電話機で呼出音が鳴ります。共有コールを保留にした場合、回線を共有している電話機で対応する回線キーを押して、コールを再開することができます。また、[再開 (Resume)] アイコンが表示される場合は、[選択 (Select)] ボタンを押すことができます。

次の共有回線機能がサポートされています。

- 回線捕捉

- パブリック保留
- プライベート保留
- サイレント割り込み（有効なプログラム可能なソフトキーを通じてのみ）

次の機能は、専用回線としてサポートされています。

- [転送]
- 会議
- コールパーク/コール取得
- コールピックアップ
- 取り込み中
- コール転送

各電話機を個別に設定することができます。通常、すべての IP フォンでアカウント情報は同じですが、ダイヤルプランや優先コーデック情報などの設定は、電話機によって異なる場合があります。

共有回線の設定

電話機の Web ページで同じディレクトリ番号を複数の異なる電話機に割り当てることにより、共有回線を作成することができます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機の Web ページへのアクセス](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [音声 (Voice)] を選択します。
 - ステップ 2** 共有されている内線番号の [内線_n (Ext_n)] タブをクリックします。
 - ステップ 3** 回線の有効リストの [全般 (General)] で、[はい (Yes)] を選択します。
 - ステップ 4** 内線の共有リストの [共有回線アピアランス (Share Line Appearance)] で、[共有 (Shared)] を選択します。

この内線を [プライベート (Private)] に設定した場合、[電話機 (Phone)] タブの [共有コールアピアランス (Share Call Appearance)] の設定に関係なく、内線はコールを共有しません。この内線を [共有 (Shared)] に設定した場合、コールは [電話機 (Phone)] タブの [共有コールアピアランス (Share Call Appearance)] の設定に従います。
 - ステップ 5** [共有ユーザ ID (Shared User ID)] フィールドで、内線が共有されている電話機のユーザ ID を入力します。

- ステップ 6** [サブスクリプションの有効期限 (Subscription Expires)]フィールドに、SIP サブスクリプションが失効するまでの秒数を入力します。デフォルトは 60 秒です。
- サブスクリプションが失効するまで、共有電話内線のステータスに関して、SIP サーバから NOTIFY メッセージが電話機に送信されます。
- ステップ 7** [MWIの制限 (Restrict MWI)]フィールドで、メッセージ待機インジケータを設定します。
- [はい (Yes)] - 専用回線 (SIP) 上のメッセージに対してのみ点灯します。
 - [いいえ (No)] - すべてのメッセージに対して点灯します。
- ステップ 8** [プロキシおよび登録 (Proxy and Registration)] の下の [プロキシ (Proxy)] フィールドにプロキシサーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 9** [サブスクライバ情報 (Subscriber Information)] で、共有内線の表示名とユーザ ID (内線番号) を入力します。
- ステップ 10** [電話機 (Phone)] タブの [各種回線キーの設定 (Miscellaneous Line Key Settings)] で、[SCA バージインの有効 (SCA Barge-In Enable)] を設定します。
- [はい (Yes)] - ユーザは共通回線で通話を引き継ぐことができます。
 - [いいえ (No)] - ユーザが共通回線で通話を引き継ぐことを禁止します。
- ステップ 11** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

ボイスメールの設定

ボイスメールシステムの外線電話番号や内線電話番号または URL を設定することができます。外部のボイスメールサービスを使用している場合、番号にダイヤルアウトするために必要なすべての数字と必要な市外局番を含める必要があります。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [全般 (General)] の下で、[ボイスメール番号 (Voice Mail Number)] を入力します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。電話機が再起動します。
-

内線ごとのボイスメールの設定

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (Extn)] を選択します。

ステップ 2 [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] で [ボイスメールサーバ (Voice Mail Server)] を入力します。

ステップ 3 (オプション) [ボイスメール登録間隔 (Voice Mail Subscribe Interval)] にボイスメールサーバへの登録有効期限 (秒単位) を入力します。

ステップ 4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

電話機が再起動します。

メッセージ待機インジケータの設定

電話機の個々の内線にメッセージ待機インジケータを設定できます。メールボックスに新しいボイスメールメッセージがあると、メッセージ待機インジケータが点灯します。

ボイスメールが残っている場合、IP フォンの上部にあるインジケータを有効にするか、示されるメッセージ待機通知を表示できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (Extn)] を選択します。

ステップ 2 [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] の [メッセージ受信 (Message Waiting)] で、[はい (Yes)] を選択し、有効にします。

内線への着信音の割り当て

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。電話機の Web ページへのアクセスを参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。(n) は、内線番号です。

ステップ 2 [コール機能の設定 (Call Feature Settings)] の下で、[デフォルト着信音 (n) (Default Ring (n))] ドロップダウンリスト ボックスを使用して次のいずれかを指定します。

- [呼出音なし (No Ring)]
- 使用可能な 12 の着信音のいずれかを選択します。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

特殊着信音の追加

着信音スクリプトを使用して各着信音の特性を設定できます。電話機が SIP アラート情報メッセージを受信し、そのメッセージの形式が正しい場合、電話機は指定された着信音を再生します。それ以外の場合、電話機はデフォルトの着信音を再生します。

手順

着信音スクリプトでは、次の形式で、着信音に名前を割り当て、特殊な着信音を設定するスクリプトを追加します。

```
n=ring-tone-name;h=hint;w=waveform-id-or-path;c=cadence-id;b=break-time;t=total-time
```

定義：

n = 着信音を識別する着信音の名前。電話機の着信音メニューにこの名前が表示されます。着信 INVITE リクエストでの SIP アラート情報ヘッダーで同じ名前を使用して、対応する着信音を再生するよう電話機に指示することができます。名前は URL で使用可能な文字と同じ文字のみである必要があります。

h = SIP アラート情報規則で使用するヒント。

w = 波形の id またはパスであり、この着信音で使用する目的の波形のインデックスです。組み込みの波形は次のとおりです。

- 1 = 機械的ベルのクラシックな電話機
- 2 = 通常の電話着信音
- 3 = クラシックな着信音
- 4 = 広帯域周波数掃引信号

ネットワークパス (`url`) を入力してサーバから着信音データ ファイルをダウンロードすることもできます。この形式でパスを追加します。

```
w=[tftp://]hostname[:port]/path
```

`c` = 指定された波形を再生する目的のパターンのインデックスです。<パターン1>～<パターン8> で定義された 8 つのパターンがあります。W=3、4、または `url` の場合、パターン `id` は 0 となります。c=0 に設定すると、鳴動時間が着信音ファイルの自然な長さとなることを意味します。

`b` = 着信音のバースト間の中断する秒数を指定する中断時間です。例 : `b = 2.5`。

`t` = タイムアウトまでに着信音を再生する合計時間を秒数で指定します。

音声設定の構成

ユーザは、電話機の音量調節ボタンを押してから、[保存 (Save)] ソフトキーを押すことにより、音量設定を変更できます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

ステップ 2 [音声の音量 (Audio Volume)] セクションで、1 (最小音量) ~ 10 (最大音量) の音量レベルを設定します。

- [呼出音音量 (Ringer Volume)] : 呼出音の音量を設定します。
- [スピーカーの音量 (Speaker Volume)] : 全二重スピーカーフォンの音量を設定します。
- [ヘッドセットの音量 (Headset Volume)] : ヘッドセットの音量を設定します。
- [ハンドセットの音量 (Handset Volume)] : ハンドセットの音量を設定します。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

音響 設定

パラメータ	説明
スピーカーの調整	<p>スピーカフォン、ハンドセット、およびヘッドセットのオーディオ調整を設定します。</p> <p>(注) 3.5 mmジャックまたはUSBポートを使うヘッドセットは調整できません。</p>
側音	<p>電話機のハンドセットおよびヘッドセット用の側音ゲインを設定します。</p> <p>側音ゲインとは通話中にユーザーがハンドセットまたはヘッドセットで話す際に聞こえるフィードバックの事です。</p> <p>デフォルト: [低い (Low)]。</p> <p>(注) 電話機のスピーカーおよびUSBポートを使うヘッドセットの側音ゲインは調整できません。</p>
マイクロフォンゲイン	<p>ハンドセット、および電話機に接続されているヘッドセットのマイクロフォンゲインを設定します。</p> <p>デフォルトでマイクロフォンゲインは[低い (Low)]になっています。</p> <p>(注) スピーカフォン、およびUSBポートを使うヘッドセットのマイクゲインを調整することはできません。</p>

音響の設定を行なう

電話機用スピーカー、ハンドセット、および接続されているヘッドセットのオーディオ設定を行なう事ができます。

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#)を参照してください。

手順

ステップ1 [音声 (Voice)][ユーザ (User)]> を選択します。

ステップ2 [音響 設定 (Acoustic Settings)] エリアで、各フィールドの設定を行なってください。

- **スピーカーの調整**—スピーカー、ハンドセット、およびヘッドセットのオーディオ調整を指定します。
- **[側音 (Sidetone)]**—側音ゲインを設定します。
- **[マイクロフォンゲイン (Microphone Gain)]**—マイクロフォンゲインを設定します。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

ユーザ アクセス制御

Cisco IP Phone は "ua" ユーザ アクセス属性だけを尊重します。特定のパラメータでは、"ua" 属性が管理 Web サーバへのユーザ アカウントによるアクセスを定義します。"ua" 属性が指定されなかった場合は、電話機が対応するパラメータの工場出荷時のユーザ アクセスを適用します。この属性は、管理者アカウントによるアクセスに影響しません。



(注) 要素属性の値は二重引用符で囲みます。

"ua" 属性は、次のいずれかの値にする必要があります。

- na : アクセスなし
- ro : 読み取り専用
- rw : 読み取り/書き込み

ビデオ サービスの無効化

電話機ですべてのビデオ設定を無効または非表示にして、電話機のビデオ機能を無効化することができます。ビデオサービスを無効化すると、電話機でビデオ設定メニューを確認できなくなります。また、[ビデオ (Video)] および [カメラ露出 (Camera Exposure)] パラメータが電話機の Web ページに表示されなくなります。カメラ露出の詳細については、[カメラ露出の調整 \(26 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [補足サービス (Supplementary Services)] セクションの下にある [ビデオサービス (Video Serv)] リストから、ビデオ サービスを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、サービスを無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。

ステップ 3 [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes)] をクリックして、設定を保存します。

ビデオ帯域幅の制御

ネットワークがビジー状態であったりネットワークリソースが制限されている場合、ユーザからビデオの問題（遅延や突然の停止など）について不満が出る場合があります。

デフォルトでは、音声とビデオのネットワーク要件のバランスを考慮した帯域幅設定が電話機で自動的に選択されます。

ネットワーク条件に応じて、固定帯域幅を設定して、自動選択を上書きすることができます。固定帯域幅を設定する場合は、設定を選択し、ビデオのラグがなくなるまで下方に調整します。

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 [ビデオ設定 (Video Configuration)] セクションで、[帯域幅の許容範囲 (Bandwidth Allowance)] リストから帯域幅を選択して、電話機が送受信できる情報の最大量を制限します。詳細については、[ビデオ設定](#)および[ビデオ送信解像度のセットアップ](#)を参照してください。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

カメラ露出の調整

オフィスの周囲光に合わせてカメラの露出を調整できます。露出を調整して、送信されるビデオの明るさを変更してください。

[アプリケーション (Applications)]  > [ユーザ設定 (User Preference)] > [ビデオ (Video)] > [露出 (Exposure)] メニューから電話機で露出を調整することもできます。

始める前に

カメラのシャッターが開いている必要があります。

手順

- ステップ1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ステップ2 [ビデオの設定 (Video Configuration)] セクションで、[カメラ露出 (Camera Exposure)] フィールドに値を入力します。
露出範囲は 0 ~ 15 で、デフォルト値は 8 です。
- ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。


電話機 Web サーバ

Web サーバでは、管理者とユーザは電話機の Web ユーザ インターフェイスを使用して電話機にログインできます。管理者とユーザは異なる権限を持ち、表示されるオプションはそれぞれの権限に基づいて異なります。

電話画面インターフェイスからの Web サーバの設定

電話画面から電話機の Web ユーザ インターフェイスを有効にする場合は、次の手順を使用します。

手順

- ステップ1 アプリケーション ボタン  を押します。
- ステップ2 [ネットワーク構成 (Network Configuration)] > [Webサーバ (Web Server)] を選択します。
- ステップ3 有効にするには [オン (On)] を、無効にするには [オフ (Off)] を選択します。
- ステップ4 [設定 (Set)] を押します。

ダイレクトアクション URL

[ダイレクトアクションURLの有効化 (Enable Direct Action URL)] 設定が [はい (Yes)] に設定されている場合、管理者のみがこれらのダイレクトアクション URL にアクセスできます。管理者ユーザがパスワードで保護されている場合、これらの URL にアクセスする前に、クライアントによりログインプロンプトが表示されます。ダイレクトアクセス URL には、電話機の Web ページからパス /admin/<direct_action> を介してアクセスできます。構文は次のとおりです。

```
http[s]://<ip_or_hostname>/admin/<direct_action>[?<url>]
```

ダイレクトアクション URL

例 : http://10.1.1.1/admin/resync?http://server_path/config.xml

次の表は、サポートされているさまざまなダイレクトアクション URL のリストを示しています。

direct_action	説明
resync	URL で指定された設定ファイルのワンタイム再同期を開始します。再同期する URL は ? を前に付けて指定します。ここで指定した URL は、電話機の設定には保存されません。 例 http://10.1.1.1/admin/resync?http://my_provision_server.com/cfg/device.cfg
upgrade	指定されたロードへの電話機のアップグレードを開始します。ロードは、アップグレードルールを介して指定されます。ルールは、ロードする URL パスの前に ? を付けて指定します。指定されたアップグレードルールは 1 回だけ使用でき、プロパティ設定には保存されません。 例 http://10.1.1.1/admin/upgrade?http://my_upgrade_server.com/loads/sip88xx.11.0.0MP2.123.loads
updateca	URL で指定されたカスタム認証局 (カスタム CA) のワンタイムインストールを開始します。ダウンロードする URL は ? を前に付けて指定します。ここで指定した URL は、電話機の設定には保存されません。 例 http://10.1.1.1/admin/updateca?http://my_cert_server.com/certs/myCompanyCA.pem
reboot	電話機の再起動を開始します。? 付きのパラメータは使いません。 例 http://10.1.1.1/admin/reboot
cfg.xml	電話機設定のスナップショットを XML 形式でダウンロードします。セキュリティのため、パスワードは表示されません。このほとんどの情報は、電話機の Web ページの [音声 (Voice)] タブにあるプロパティに対応しています。 例 http://10.1.1.1/admin/cfg.xml
status.xml	電話機のステータスのスナップショットを XML 形式でダウンロードします。このほとんどの情報は、電話機の Web ページの [ステータス (Status)] タブに対応しています。 例 http://10.1.1.1/admin/status.xml
screendump.bmp	このアクションを開始するときの電話機の LCDUI のスクリーンショットをダウンロードします。 例 http://10.1.1.1/admin/screendump.bmp

direct_action	説明
log.tar	電話機に保存されているアーカイブ ログのセットをダウンロードします。 例 http://10.1.1.1/admin/log.tar

電話機 Web インターフェイスへのアクセスの有効化

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。電話機の Web ページへのアクセスを参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。
- ステップ 2** [システム設定 (System Configuration)] セクションで、[Webサーバの有効化 (Enable Web Server)] ドロップダウン リスト ボックスから [はい (Yes)] を選択します。
- ステップ 3** [プロトコルの有効化 (Enable Protocol)] ドロップダウン リスト ボックスで、[Http] または [Https] を選択します。
- ステップ 4** [Webサーバポート (Web Server Port)] フィールドに、Web サーバにアクセスするためのポートを入力します。HTTP のデフォルト ポートは 80、HTTPS のデフォルト ポートは 443 です。
- ステップ 5** [Web管理アクセスの有効化 (Enable Web Admin Access)] ドロップダウン リスト ボックスで、電話機の Web ユーザ インターフェイスの [管理者ログイン (Admin Login)] へのローカル アクセスを有効または無効にできます。デフォルトは [はい (Yes)] (有効) です。
- ステップ 6** システム管理者にパスワードを使用して電話機の Web ユーザ インターフェイスにログインさせる場合は、[管理者パスワード (Admin Password)] フィールドにパスワードを入力します。管理者が [管理者ログイン (Admin Login)] をクリックしたときにパスワードプロンプトが表示されます。パスワードの最小長は 4 文字、最大長は 127 文字です。
- (注) パスワードには、スペース キーを除く任意の文字を使用できます。
- ステップ 7** ユーザにパスワードを使用して電話機の Web ユーザ インターフェイスにログインさせる場合は、[ユーザパスワード (User Password)] フィールドにパスワードを入力します。ユーザが [ユーザログイン (User Login)] をクリックすると、パスワードプロンプトが表示されます。パスワードの最小長は 4 文字、最大長は 127 文字です。
- (注) パスワードには、スペース キーを除く任意の文字を使用できます。
- ステップ 8** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
-

XML サービス

電話機は、XML ディレクトリ サービスやその他の XML アプリケーションなどの XML サービスのサポートを提供します。XML サービスの場合、HTTP と HTTPS のサポートのみが利用可能です。

次の Cisco XML オブジェクトがサポートされています。

- CiscoIPPhoneMenu
- CiscoIPPhoneText
- CiscoIPPhoneInput
- CiscoIPPhoneDirectory
- CiscoIPPhoneIconMenu
- CiscoIPPhoneStatus
- CiscoIPPhoneExecute
- CiscoIPPhoneImage
- CiscoIPPhoneImageFile
- CiscoIPPhoneGraphicMenu
- CiscoIPPhoneFileMenu
- CiscoIPPhoneStatusFile
- CiscoIPPhoneResponse
- CiscoIPPhoneError
- CiscoIPPhoneGraphicFileMenu
- Init:CallHistory
- Key:Headset
- EditDial:n

サポートされる URI の完全なリストは、次の URL にある『*Cisco Unified IP Phone Services Application Development Notes for Cisco Unified Communications Manager and Multiplatform Phones*』に含まれています。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/products-programming-reference-guides-list.html>

XML ディレクトリ サービス

XML URL に認証が必要な場合、パラメータ **XML UserName** および **XML Password** を使用します。

XML URL のパラメータ **XML UserName** は、**\$XML UserName** に置き換えられます。

例：

パラメータ XML UserName は、**cisco** です。XML ディレクトリ サービス URL は、**http://www.sipurash.compath?username=\$XML_User_Name** です。

結果のリクエスト URL : **http://www.sipurash.com/path?username=cisco**

XML アプリケーション

外部アプリケーション（たとえば、Web アプリケーション）から電話機への Post を介した CGI/ 実行 URL に認証が必要な場合、パラメータ CISCO XML EXE Auth Mode が次の 3 つの異なるシナリオで使用されます。

- 信頼済み：認証は実行されません（ローカル ユーザ パスワードが設定されているかどうかに関係なく）。これはデフォルトです。
- ローカル クレデンシャル：ローカル ユーザ パスワードが設定されている場合、認証は、ローカル ユーザ パスワードを使用したダイジェスト認証に基づきます。ローカル ユーザ パスワードが設定されていない場合、認証は実行されません。
- リモート クレデンシャル：認証は、（XML アプリケーションサーバにアクセスするために）Web ページの XML アプリケーションで設定されているリモート ユーザ名やパスワードを使用したダイジェスト認証に基づきます。

マクロ変数

XML URL でマクロ変数を使用することができます。次のマクロ変数がサポートされています。

- ユーザ ID : UID1、UID2 ~ UIDn
- 表示名 : DISPLAYNAME1、DISPLAYNAME2 ~ DISPLAYNAMEn
- 認証 ID : AUTHID1、AUTHID2 ~ AUTHIDn
- プロキシ : PROXY1、PROXY2 ~ PROXYn
- 小文字の 16 進数を使用した MAC アドレス : MA
- 製品名 : PN
- 製品シリアル番号 : PSN
- シリアル番号 : SERIAL_NUMBER

次の表に、電話機でサポートされているマクロのリストを示します。

マクロ名	マクロ展開
\$	\$\$ 形式は、単一の \$ 文字に展開されます。

マクロ名	マクロ展開
A ~ P	汎用パラメータ GPP_A ~ GPP_P で置き換えられます。
SA ~ SD	特殊用途のパラメータ GPP_SA ~ GPP_SD で置き換えられます。これらのパラメータには、プロビジョニングで使用されるキーまたはパスワードが保持されます。 (注) \$SA ~ \$SD は、オプションの resync URL 修飾子 --key を引数として認識されます。
MA	小文字の 16 進数を使用した MAC アドレス (000e08aabbcc)。
MAU	大文字の 16 進数を使用した MAC アドレス (000E08AABBCC)。
MAC	小文字の 16 進数を使用し、16 進数ペアがコロンで区切られた MAC アドレス (00:0e:08:aa:bb:cc)。
PN	製品名。IP Phone 8861 など。
PSN	製品シリーズ番号。8861 など。
SN	シリアル番号の文字列。88012BA01234 など。
CCERT	SSL クライアント証明書ステータス (インストール済みまたは未インストール)。
IP	ローカルサブネット内の電話機の IP アドレス。192.168.1.100 など。
EXTIP	インターネットで表示される、電話機の外部 IP。66.43.16.52 など。
SWVER	ソフトウェアバージョンの文字列。2.0.6(b) など。ソフトウェアバージョンの文字列を使用して、次のいずれかの方法で、現在の電話機のファームウェアロードと比較します。 <ul style="list-style-type: none"> 引用符ありの "\$SWVER" : ファームウェアロード名の比較で変数が文字列として機能します。"\$SWVER" eq "sip8845_65.11-1-1MSR-1dev.loads" の場合、電話機のモデル番号とロード番号は比較の一部です。 引用符なしの \$SWVER : 変数が解析され、ビルド番号に加えて、メジャー、マイナー、およびマイクロリビジョン番号が判別されます。たとえば、sip88xx.11-1-1MSR-1dev.loads と sip8845_65.11-1-1MSR-1dev.loads のファームウェア名が解析された場合、その結果でモデル番号とロード番号が無視されます。両方のファームウェア名の解析結果として、メジャーリビジョン=1、マイナーリビジョン=1、マイクロリビジョン=1MSR、ビルド番号=1 が得られます。

マクロ名	マクロ展開
HWVER	ハードウェアバージョンの文字列。1.88.1 など。
PRVST	プロビジョニングの状態 (数値文字列) <ul style="list-style-type: none"> • -1 = 明示的な再同期要求 • 0 = 電源投入再同期 • 1 = 定期的な再同期 • 2 = 再同期の失敗、再試行
UPGST	アップグレードの状態 (数値文字列) <ul style="list-style-type: none"> • 1 = 最初のアップグレード試行 • 2 = アップグレードの失敗、再試行
UPGERR	前回のアップグレード試行の結果メッセージ (ERR)。http_get failed など。
PRVTMR	最後の再同期から経過した秒数。
UPGTMR	最後のアップグレード試行から経過した秒数。
REGTMR1	SIP サーバで回線 1 が登録解除されてから経過した秒数。
REGTMR2	SIP サーバで回線 2 が登録解除されてから経過した秒数。
UPGCOND	レガシーのマクロ名。
SCHEME	ファイルアクセススキーム (再同期またはアップグレード URL の解析後に取得される TFTP、HTTP、または HTTPS)。
METH	廃止された SCHEME エイリアス。使用しないでください。
SERV	ターゲットサーバのホスト名を要求します。
SERVIP	ターゲットサーバの IP アドレスを要求します (DNS ルックアップの後)。
PORT	ターゲット UDP/TCP ポートを要求します。
PATH	ターゲットのファイルパスを要求します。
ERR	再同期またはアップグレード試行の結果のメッセージ。
UIDn	回線 n の UserID 設定パラメータの内容。
ISCUST	ユニットがカスタマイズされている場合、値は 1。それ以外の場合は 0。 (注) Web UI 情報ページで確認できるカスタマイズステータス。

マクロ名	マクロ展開
INCOMINGNAME	最初の接続、呼び出し、または着信コールに関連付けられた名前。
REMOTENUMBER	最初の接続、呼び出し、または着信コールの電話番号。複数のコールがある場合は、最初に見つかったコールに関連付けられているデータが渡されます。
DISPLAYNAME _n	回線 N の表示名設定パラメータの内容。
AUTHID _n	回線 N の認証 ID 設定パラメータの内容。

XML アプリケーションに接続するための電話機の設定

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 次の情報を入力します。

- XML アプリケーション サービス名 — XML アプリケーションの名前。メニュー項目としてユーザの電話機に表示されます。
- XML アプリケーション サービス URL — XML アプリケーションがある URL。

XML アプリケーションに接続するように未使用のライン ボタンを設定する場合、ボタンは上記で設定した URL に接続します。この動作を希望しない場合は、ライン ボタンの設定時に別の URL を入力する必要があります。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

XML ディレクトリ サービスに接続するための電話機の設定

始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機の Web ページへのアクセス](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 次の情報を入力します。

- XML ディレクトリ サービス名 — XML ディレクトリの名前。ディレクトリの選択肢としてユーザの電話機に表示されます。
- XML ディレクトリ サービス URL — XML ディレクトリがある URL。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
